

宇宙開発戦略本部 宇宙開発戦略専門調査会 第2回会合(議事要旨)

1. 日時 平成 20 年 11 月 4 日(火) 13:00～14:30

2. 場所 官邸 4 階 大会議室

3. 議事概要

(1) 開会

河村官房長官及び野田宇宙開発担当大臣挨拶

(2) 我が国における人工衛星・ロケットの開発・利用状況について

事務局より、資料1に基づき、我が国における人工衛星・ロケットの開発・利用状況について説明後、宇宙航空研究開発機構(JAXA)、三菱重工業株式会社(MHI)、株式会社 IHI からヒアリングを実施(入れ替え制)。各機関からのヒアリングの概要は以下のとおり。

① JAXA からのヒアリング

JAXA より、資料2に基づき、人工衛星、ロケットの現状、課題及び展望について説明。その後の主な質疑応答は以下のとおり。

- 新たな需要の創出に関し、民需の見込みに関する質問に対し、ビジネスで使える衛星を開発することは重要だと認識した上で、可能性のある分野はあるが、現在検討中の段階であること、今後、実際の衛星等を製作して需要を喚起したい旨回答があった。また、具体例として、衛星からの魚群探知による漁業への貢献、アジアなど途上国を含めた遠隔教育などについて言及があった。
- JAXAの予算における国の予算以外の占める割合についての質問に対し、ほとんどない旨回答があった。また、JAXAの資金で民需を喚起している状況である旨言及があった。
- 有人宇宙飛行についての考えについて質問があり、現在の我が国の方針として、総合科学技術会議の決定で、当面独自の有人計画は持たないが、基盤となる研究を進める方針となっている旨回答があった。実施機関(JAXA)としては、世界の趨勢として有人月探査等の検討を始めている状況を踏まえ、我が国の対応について議論して欲しい旨言及があった。

② MHIからのヒアリング

MHIより、資料3に基づき、H-IIAロケット/H-IIBロケットの現状・課題及び展望について説明。その後の主な質疑応答は以下のとおり。

- 欧州の商業打ち上げの具体的な衛星ミッションについて質問があり、主なミッションは通信・放送衛星の打上げである旨回答があった。
- MHIとJAXAの役割分担について質問があり、現在の打上げの責任分担として、打上げ責任はMHIが有し、打上げに関する安全管理はJAXAが負っている旨、及び、ロケットの設計・製造についてはMHIで行い、材料に係る研究等それらのベースとなる基礎技術開発をJAXAが担当している旨回答があった。

③ IHIからのヒアリング

IHIより、資料4に基づき、GXロケットの現状・課題及び展望について説明。その後の主な質疑応答は以下のとおり。

- GXロケットは、1段ロケットエンジンがロシア製、1段システム全体がアメリカ製、2段が日本製のロケットとなり、複雑な国際協力体制になっているが、どのように考えているのかとの質問があり、全てを独自で研究開発するのではなく、世界の優れた技術を集め低コスト化を図っており、問題ないと理解している旨回答があった。
- 米国政府にニーズがあるとの説明に対し、米国政府の確認が取れているのかとの質問があり、米国企業経由で米国空軍幹部から重要な1つの案であるとの話があった旨回答があった。

(3) 意見交換

その後に行われた意見交換は、以下のとおり。

- 今後、産業分野での宇宙利用の拡大を図るためには、大型・中型・小型のロケットを揃え、衛星もシリーズ化していく必要がある。また、種子島射場の打上げ期間の制約については、種子島以外の射場の整備を含めて検討し、年間を通じ需要に応じて打上げ可能となるよう緩和する必要があるのではないか。
- 宇宙の活用について、衛星のニーズを顕現化していくことが重要である。シリーズ側から利用サイドに対し、ニーズの掘り起こしのためにより一層のアプローチが必要ではないか。また、産学官で利用を促進するための組織を作り、具体的利用の姿を検討し民間に具体像を示すことが必要ではないか。
- 有人宇宙活動について、やるのかやらないのか、早期に方向性を明らかにする必要があるのではないか。
- GXロケットについては、中断等もあり、時間がかかっている。早期に方向性を明らかにすべきではないか。

- 欧州のロケットに比べ、日本のロケットがなぜ打上げを受注できないのか、検討する必要があるのではないか。
- ニーズを踏まえた衛星計画、その計画を踏まえたロケット開発が必要であるのではないか。
- 次世代情報通信と宇宙、海洋開発と宇宙等の関係も検討すべきではないか。
- 若い世代にアピールする PR 活動を継続的に実施することが重要ではないか。

(4) 閉会

今後の予定について事務局より説明。漆間内閣官房副長官より閉会の挨拶。